



茨城ワイズメンズクラブ
2020年度-2021年度
10月報 Vol.158

強調月間テーマ

EMC-E・YES

THE Y'S MEN'S CLUB OF IBARAKI

CHARTERED 2006



国際会長主題.....「世界とともにワイズメン」
アジア太平洋地域会長主題.....「100年を越えて変革しよう」
東日本区理事主題....「私たちは次の世代のために何が出来るか？」
関東東部部長方針「地域に世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワ」
茨城ワイズ会長主題.....「もう一度みんなで集う場所をつくろう」

<10月例会プログラム>

と き:2021年10月8日(金)
19:00~21:00(予定)

と ころ:オンライン開催(zoom)

司 会:熊谷 光彦

開会挨拶と点鐘:熊谷 光彦

ワイズソング:オンライン時はスキップ

ワイズ信条:オンライン時はスキップ

- 1、自分を愛するよう
隣人(りんじん)を愛そう
- 1、青少年のためにYMCAに尽くそう
- 1、世界的視野をもって
国際親善をはかろう
- 1、義務を果たしてこそ
権利が生ずることをさとう
- 1、会合には出席第一
社会には奉仕第一を旨としよう

今月の聖句・祈禱:

卓話:つくば市大曾根児童館(茨城
YMCA 指定管理) 伊藤 信彦 館長
ハッピーバースデイ&

おめでとう結婚記念日:

スマイル:

茨城YMCA報告:大澤 篤人

閉会挨拶と点鐘:熊谷 光彦

★巻頭言★「死の陰の谷を歩もうとも」

三好陽之(あっぴーリーダー)

茨城YMCAに昨年度入職した「あっぴー」こと三好陽之と申します。現在は、みどりのセンター副主任を務めさせていただきつつ、みどりのセンター本館の開拓に勤しんでおります。この度はこのような機会が与えられ感謝するとともに、入職してからの恵みと苦難を分かち合えたらと思います。

茨城YMCAという居場所は、私というパズルのピースが綺麗にはまった職場のように感じております。私が学んできた心理学、教育学、そして神学。これらが生かされているような日々を送ることができ、まず感謝なことです。また、「この人たちを助けたい」という思いが否定されない環境であること、ここが働く者としてやりがいに満ち溢れるポイントかなと感じています。

現在、私は一身上の都合により、現場から少し離れて勤務しております。そのことについて少々お話を通して、茨城YMCAでの隣人愛をお伝えできればと思います。

さて、その一身上の都合というのは、私が交通事故に巻き込まれたことです。車対車の事故となり、私は体も心もボロボロとなってしまいました。今でも急ブレーキの音が聞こえてくるようで、1秒でもブレーキが遅れていたら死に瀕していたと思うとゾッとします。心が疲弊し対人恐怖症と診断されました。そのため、保育の現場や人数の多いところでの活動が難しくなりました。

そのような状態の私を、茨城YMCAの方々は温かく支えてくださり、また子どもや保護者もとても心配をしてくれました。働き方についても、配慮してくださり、ストレスのない環境で働くことが叶っています。おかげさまで少しずつ回復してまいりました。本当に感謝なことです。茨城YMCAで働く中で、目の前の子どもや困っている一人一人に仕える姿勢を学ぶとともに、職場での同

☆今月の聖句☆

あなたの御言葉は、わたしの道の光
わたしの歩みを照らす灯。

詩篇 119篇 105節

労者との支えあいの大切さも実感しております。

一言だけキリスト者として聖書の言葉を紹介させていただきます。どんなに辛く暗い状況においても、神である主がともにおられるなら、その道は確かです。どのような試練も、日々の感謝も、主へと近づかせてくださる主の恵みなのです。「たとえ死の陰の谷を歩むとしても私はわざわいを恐れませんが、あなたがともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖それが私の慰めです。(詩編 23 篇 4 節)」

【9月例会報告】

9月例会は、3日に実施いたしました。前期会計報告と今期の活動方針について協議いたしました。茨城クラブのメンバー5名で開始、仕事の都合で退席した2名と入れ替わりに後半からは東新井センター放課後等デイサービス「ひかりの子」にて責任者を務めておられる櫻井大樹さん(だいこんリーダー)にも参加いただきました。



★前期会計のまとめについて

- ・前期の会計報告と今期の予算状況について確認した。

★例会卓話の候補者について

- ・茨城 YMCA 理事や近年茨城 YMCA に加わったスタッフの方にも卓話を担っていただき、ワイズメンズクラブとのつながりを深めたいという意見が出た。
- ・推薦のあった数名には、近いうちに打診・依頼してみることに。

★茨城クラブの Web サイトについて

- ・茨城 YMCA のサイト内のワイズのページについて、掲載箇所やリンクへの動線を工夫すべきであるとの意見が出た。近日中に修正したい。

★茨城 YMCA の現況報告 (連絡主事大澤さん)

- ・新規取得後、現在整備中のみどりの本館について、最初の活用プランとして保育施設の開設を検討すべくつくば市に補助金申請を出しているものの、採択されるかどうか見通しが見えない状況。採択され

なければ資金的に開設は難しくなる。

- ・経済的に苦しい家庭の子どもへの学習支援にも力を入れている。

★牛久クラブ新規開設について

例会の最後にフリートークの延長として話題となり、次のような意見が出されました。

- ・茨城クラブが親クラブになれるほど、活動の質量ともに成熟できていない。
- ・茨城クラブのメンバーが、もやもやを抱えている状況を打破しなければ、前に進むことはできない。
- ・親クラブとして、子クラブを生むに足りうる会員数などの基準はあるのだろうか。
- ・牛久クラブの候補者に、まずは茨城クラブに入会してもらい、数年程度一緒に活動してみるのも一案ではないだろうか。

- ・本件が前に進むためには、茨城クラブを含む関係者が一度リモートでなく顔を突き合わせて議論する必要がある。

※本項については、さまざまな議論がなされ結論には至っておりませんので、出された意見のいくつかを散発的に紹介いたしました。まだまだ道半ばであり、議論を尽くす必要がある、というのが現状です。

(書記 村田)

9月例会 (リモート開催) 出席状況

会員：5名 (大澤、稲本、片山、熊谷、村田)、メ
ネット：0名、スタッフ：1名 (櫻井)、リーダー：
0名、ゲスト：0名、出席総数：6名、在籍者会員
数：9名、会員出席率：78%

【事務報告】

会計報告 (9月3日～10月7日)

前月繰越金	¥ 11,795-
会費	¥ 30,000-
次月へ繰越	¥ 41,795-

ワイズメンのみなさまにおかれましては引き続き会費の前納について、ご協力を賜りたく願います。

(会計 柳瀬)

【イベント報告】

11日(土)と20日(月・敬老の日)、ロードバイク初心者向けサイクリングコース開拓のための調査試走に出かけました。



距離は60km以内、コースのほとんどを平地走行としながら短いヒルクライムも盛り込み、利用できるトイレの場所と補給のためのコンビニを



複数入れ、休憩ポイントは走行20分以内に必ず入れ、さらに見学ポイントもいくつか設定・・・



といった盛りだくさんの設定条件をふまえて実施しました。また出発前や休憩ポイントではガイドアナウンスの練習、走行中にはハンドサインの練習と危険回避の声掛けの練習も行いました。

2回にわたって実施した今回の試走会は、目的が合致した3者、いばらきサイクリング協会と茨城YMCAと茨城ワイズメンズクラブのコラボ試走会として開催することができました。いばらきサイクリング協会からは理事の関口さんをはじめ数名の会員が、茨城YMCAからは大澤さん(ジャンプ)と青山さん(りょうちょう)、茨城ワイズメンズクラブからは会長熊谷が参加し、よい交流の場にもなりました。

(会長 熊谷)

【茨城YMCA報告】

9月の報告

1日 中期計画委員会

1-10日

YMCA 幼保園入園希望者願書受付

6日 早天祈祷会

6日 主任会

6日 みどりの本館ワーク

8日 みどりの本館ワーク

9日 職員礼拝/職員会

11日 未就学児デイキャンプクラブ「わんぱくクラブ」【中止】

11日 野外事業運営委員会

15日 幼保園新入園児面談

15日 国際事業ミーティング

15日 バザーミーティング

16日 総務担当者会

16日 みどりの本館ワーク

17日 中期計画委員会

17日 みどりの本館ワーク

18日 小学生デイキャンプクラブ「つくわいクラブ」【中止】

18日 夏の1DAYキャンプ(高学年対象)【中止】

20日 夏の1DAYキャンプ(低学年対象)【中止】

21日 HP制作チームミーティング

24日 つくば幼保運動間総練習

25日 障がい児者自立支「たんぽぽクラブ」【中止】

25-26日

ファミリーキャンプ【中止】

28日 赤い羽根テーマ型募金説明会

10月の予定

1日 インターナショナルチャリティーラン実行委員会

2日 みどりの新本館キレイキレイボランティア作業

3日 フードパントリー@みどりの本館

4日 早天祈祷会

4日 じゃがいもかぼちゃ到着

5日 リソースモビリゼーションチームミーティング

6日 主任会

9-10日

夏のオーバーナイトキャンプ

13日 チャリティーゴルフ

14日 職員礼拝/職員会

16日 高学年デイキャンプクラブ「トムソーヤ」

23日 理事会

23-24日

障がい児者自立支「たんぽぽクラブ」お泊り会

25-28日

健康診断

(連絡主事 大澤)

【編集後記】

コロナもおさまってきたので、違う話題を。

わたくし、20年以上前から千葉ロッテマリーンズのファンです(大阪出身なので、その前はタイガースファンでした)。大学進学にあたって大阪でもなく東京でもなく茨城に出てきたのには「野球を観に行きたい」という動機も少し混じっていたように思います。学生の頃、そして社会人となり東京で暮らしていた頃は、よく球場のある幕張まで足を運んでいました。



そんなマリーンズが、なんと51年ぶりのシーズン優勝のチャンスがあるきょうこの頃、わた

し自身も毎日そわそわしています。来月のブリテンの編集後記を書く頃には、ペナントレースの結果も決まっていることでしょう。

スタジアムで声を出すことのできない日々が続いています。声の限りの応援、そんな日々が戻ってくるのは数年後のことになるかもしれません。それでも、こんな世の中でも、好きなチームのことを応援し続けられるのは、幸せなことですね。

(書記 村田)

みどりの本館の整備ワークに、会長は時々参加させていただいております。

芝生農家の畑から何度もピストン輸送して植えた広大なフィールドの芝生たちは、そこそこ元気に育ってくれているようです。

ところが先日、モグラの被害が発生していました。何とかできないものかとふと思い出したのはヒガンバナ。毒を持つキンポウゲ科のこの植物は日本では昔からお寺やお墓のモグラの被害を防ぐために植えられてきたそうです(お墓の花だからとあまり良くないイメージを持つ人もいるとのこと)。しかしモグラはそもそも肉食なのでヒ



ガンバナなど食べませんから、その効果は疑問視されています。

もしかしたらモグラの餌になるミミズや昆虫が寄り付かなくなると、それでモグラもやってくる食糧連鎖的な効果が期待できるかも・・・と、さっそく50個ほどの球根を芝生エリアの端っこに植えてみました。

その次の撃退作戦も考えてあります。ペットボトルの風車を子どもたちに作ってもらおうかな? (敏感なモグラは風車の音と振動で寄り付かなくなるという説があります)。



(会長 熊谷)